

四万十町住生活基本計画 第3回策定委員会

開催日時： 令和8年2月4日(水) 14:00～15:10
場所： 四万十町役場東庁舎2階 町民活動支援室
出席者： 牧野委員長、小笠副委員長、橋本委員、山本委員、野村委員、
北村委員（五十音順）
事務局： 下元課長、橋本副課長、下司係長、林主査（四万十町建設課）
長谷川、増井（昭和株式会社）

会議要旨（敬称略）

事務局 パブリックコメントの結果報告、計画案および概要版の最終案について説明を行う。検討をよろしくお願ひしたい。

牧野委員長 人口減少が進む中、アンケートでは「最期まで自宅で暮らしたい」という声が増えている。家の中での安定した暮らしを実現するための計画となるよう、最後のご意見を頂戴したい。

事務局 1月5日から26日までパブリックコメントを実施し、意見は寄せられなかった。
なお、パブコメの実施にあたっての修正点として、キヤッチフレーズ「安心の家、つながる地域、未来につむぐ四万十のくらし」については、前回議論のあった「安全」の意味も「安心」に含むこととし、経済的負担の適正化という意味を込め、パブコメ案では前回委員会提示のとおりとしている。
また、補助金額等の具体的な数字は、今後の制度変更を考慮してフロー図等に置き換えている。
また、今後の計画本編案の修正点として、配付資料2に示すとおりグラフの視認性向上、流入出図への町名追加、5年前の調査結果との比較グラフの挿入などを行う予定である。また、章立てを整理し、第7章と第8章を「見直しの方針」として統合、小見出しに「基本目標」の文字を追加したい。

山本委員 表紙に使用している風景写真について、それぞれの地区名や名称を記載してほしい。どこを撮影したものかが分かった方がよい。

小笠副委員長 表紙のタイトルの場所に、決定したキヤッチコピーを配置してはどうか。前回の計画でも空の青色部分に入っていた。

野村委員 16ページ（本編資料）の世帯類型のグラフも凡例のドットが小さくて見えにくい。概要版のように大きくしてほしい。

事務局	概要版は全 8 ページの構成で、計画の本体部分となる 63 ページ以降を中心まとめている。1 ページ目に理念と方針を整理し、2 ページ目以降に具体的な施策展開をほぼ本編そのまで記載した。特に役割分担など重要な内容は本編で使用した表をそのまま反映している。
牧野委員長	概要版 8 ページの役割分担にある「志縁団体（しえんだんたい）」という言葉が「支援団体」だと聞こえた。これは一般的な用語なのか。
事務局	志（こころざし）でつながる団体という意味で、10～15 年ほど前から使われ始めた言葉だが、普及には至っていないかもしれない。
野村委員	一般の人が読むものなので、誤字だと思われないよう、定着している言葉に変えるか、説明を加えるべきだろう。
橋本委員	違和感がある。特に定着させたい意図があるなら別だが、伝わりやすい表現の方がよい。
事務局	概要版もあわせて「NPO 等の団体」のようにあっさりとした表現へと改めたい。
野村委員	概要版 4 ページの図表 53 で、地域の文字が所在地マークと重なって見えにくい箇所があるため、調整をお願いしたい。
野村委員	本編 2-1 節にある「感震ブレーカー」は、地震時の火災防止に有効だとテレビ等でもよく目にする。補助金等の活用も含め、ぜひ積極的に啓発してほしい。
事務局	感震ブレーカーは危機管理課の所管となるため、今回の意見を伝え、連携して啓発に取り組めるよう検討する。
	本計画は町議会の議決事項であるため、3 月定例会にて報告する。それまで添削などの修正を加えることになるため、お気づきの点、あるいは用語解説が必要な語句などがあれば事務局までご連絡いただきたい。軽微な修正については委員長に最終確認をいただき、承認を得たいと考えている。
小笹副委員長	計画の内容は、住民がホームページ等で閲覧できるよう配慮してほしい。
事務局	計画書の PDF を掲載することが多いが、本編を丸ごと印刷するケースも少ないと考えられるので、方法を検討したい。
	本日はお疲れ様でした。委員長に最終確認をいただいた後、3 月議会に向けて調整を進める。ありがとうございました。

以上